

川島 成道(ヴァイオリン) Narimichi Kawabata

1971年、東京生まれ。視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。1998年、東京サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルとの共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し、毎年数多くのリサイタルを行っている。国内外の主要オーケストラとも多数共演しており、ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団(ユベール・スダーン指揮)、スロヴェニア国立マリボール歌劇場管弦楽団、ポローニヤ歌劇場室内合奏団などにソリストとして迎えられ、いずれも高い評価を得ている。2007年のスロヴェニア国立マリボール歌劇場管弦楽団との共演においては、ヴォルフ＝フェラーリ作曲「ヴァイオリン協奏曲ニ長調」を日本初演、同楽団のスロヴェニア公演でもソリストを務めた。2011年は、欧州最高のオーケストラのひとつであるキエフ国立フィルハーモニー交響楽団の日本ツアーのソリストとして成功を収め、2013年にも再び共演するなど、着実な歩みを進めている。

CDは、1999年リリースのファーストアルバム「歌の翼に」(ビクターエンタテインメント)が20万枚の記録的大ヒットとなり各地で売り切れ公演が続出、大きな話題を集めて以来、2015年リリースの「無伴奏の世界 | 川島成道」まで13枚をリリースしている。尚、デビュー10周年記念CD「ザ・ベスト」と11枚目のCD「川島成道 | クライスラーを弾く」、13枚目の「無伴奏の世界 | 川島成道」は、レコード芸術誌で特選盤に選ばれている。

「徹子の部屋」、「スタジオパークからこんにちは」などのテレビ番組にも出演。エフエム世田谷「川島成道のレディオ・ストリングス」では5年間パーソナリティーを務めた。弦楽器専門誌「サラサーテ」における連載は、2007年より継続、好評を得ている。

デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。

中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書、高校入試問題やNHKラジオ高校講座「現代文」に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。川島成道オフィシャルサイト <http://www.kawabatanarimichi.jp>



山口 研生(ピアノ) Kensei Yamaguchi

1969年生まれ。東京都出身。5歳よりピアノを始める。92年桐朋学園大学音楽学部を卒業後、同年DAAD(ドイツ学術交流会)奨学金を受け渡欧。ベルリン芸術大学に入学。2002年3月同大学を卒業。これまでに江戸弘子、柴沼尚子、エーリッヒ・アンドレアス、パスカル・ドヴァイヨンの各氏に師事。1998年ポルト国際ピアノ・コンクール(ポルトガル)第3位。99年第28回セニガリア国際ピアノ・コンクール(イタリア)第1位および室内楽賞受賞。さらに2000年には、コンクール優勝者のみが参加を許される第11回モンテカルロ国際ピアノ・コンクール(モナコ)に日本人として初優勝し、一躍注目を集める。

これまでに、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ、モンテカルロ・フィルハーモニック・オーケストラ(モナコ)、フィルハーモニア・マルキジャーナ(イタリア)、ポルト・オーケストラ・クラシカ(ポルトガル)、ベルリン交響楽団(ドイツ)等と共演、いずれも高い評価を得ている。現在はベルリンを本拠にヨーロッパ、アメリカ、日本各地において、ソロ・リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など、多方面にわたり幅広く活躍している。今後の活躍がますます囑望されるピアニストである。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間 10:00~18:00
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)